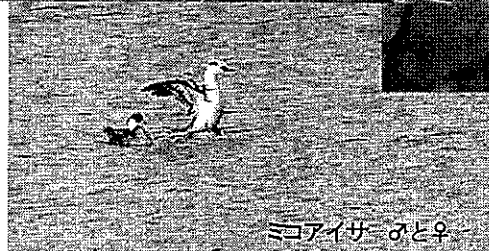
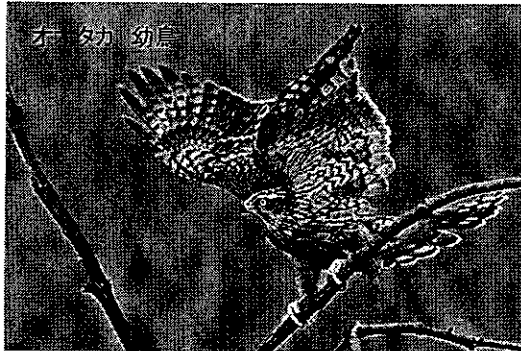


2016(H28)年度 事業中間報告



NPO法人
南港ウェットランドグループ
理事長 高田 博

事業委託契約の内容

「野鳥園臨港緑地 干潟・湿地環境保全事業委託(長期継続)契約」を2014年11月1日に結び、2019年3月31日まで、仕様書に従って契約を履行する。

- A) 目的: 野鳥園の干潟・湿地の環境を保全し、施設を有効活用した環境学習の場を市民に提供する。
NPOと大阪市が対等な関係のもとに協働を進める。
- B) 仕様書の事業内容
- * 干潟・湿地の保全: 環境調査(鳥類、干潟の生きもの、干潟の現況調査)、湿地の手入れ
 - * 環境学習: 野鳥ガイド、観察会(野鳥・干潟の生きものなど)、その他(講演会、勉強会など)
 - * 広報・啓発: 展望塔内の掲示、HP更新、観察会の広報など
- C) アドバイザリーボード
- * 事業計画及び事業評価の分析・検証
 - * 干潟・湿地の保全状況の検証

A.環境調査 1)鳥類調査

2016年春と秋に観察されたシギ・チドリ類

春:24種/秋:27種(全34種)

このうちの14種(40%)がレッドリストに記載された種類

◆絶滅危惧ⅠB類(近い将来に絶滅の危険性が高い種):2種

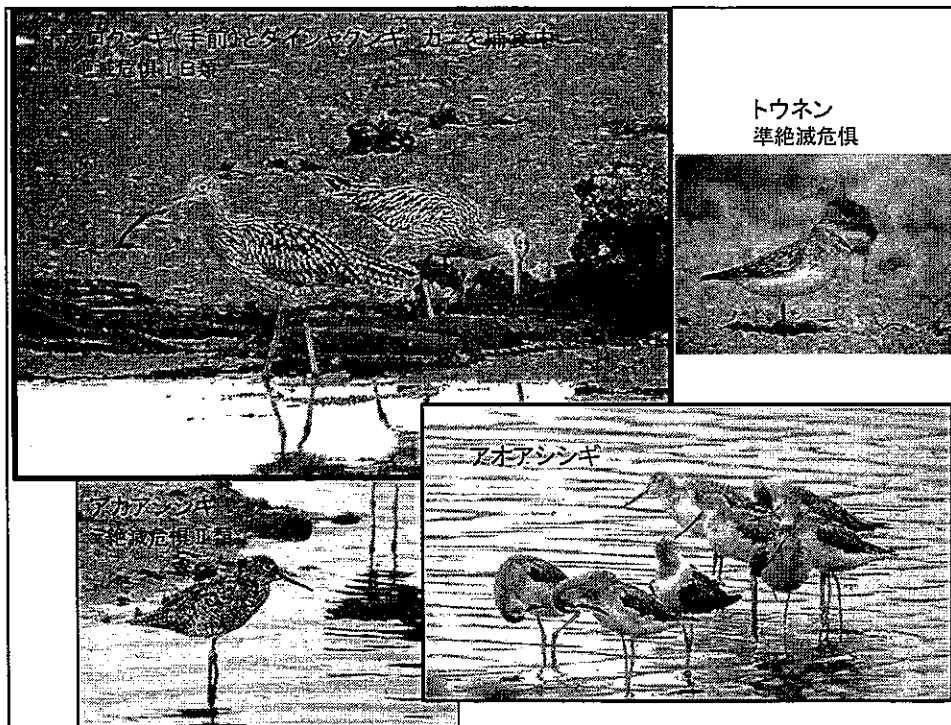
ホウロクシギ、オバシギ

◆絶滅危惧Ⅱ類(絶滅の危険が増大している種):5種

シロチドリ、セイタカシギ、ツルシギ、アカアシシギ、タカブシギ

◆準絶滅危惧(生息条件の変化によって絶滅危惧種に移行):7種

オオソリハシシギ、オグロシギ、トウネン、ハマシギ、キアシシギ、
オオジシギ、ダイシャクシギ



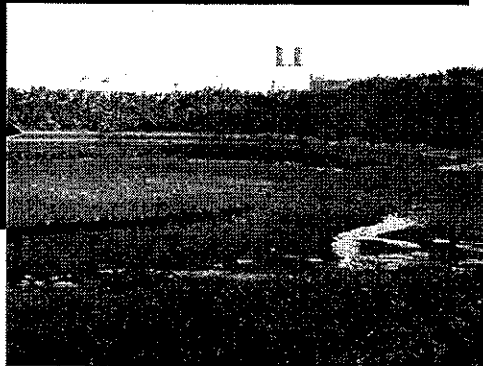
A. 環境調査 2) 干潟の生きものと現況調査

◆ 地形・環境の変化

1. 展望塔前の水たまり付近でヨシ原が広がっている。
2. 北池鋼管前と北池や西池とつながる部分は土砂が堆積し、潮の流れが悪くなっている。西池とつながる部分は手作業で滞筋掘りを実施予定。

◆ 海藻類

1. アオサ類は北池の干潟部分には繁茂しておらず、鋼管前に見られるだけ
(但し、今年11~12月にかけては、
北池のアオサは増えている)
2. ホソジュズモは西池・南池で広く繁茂していた。

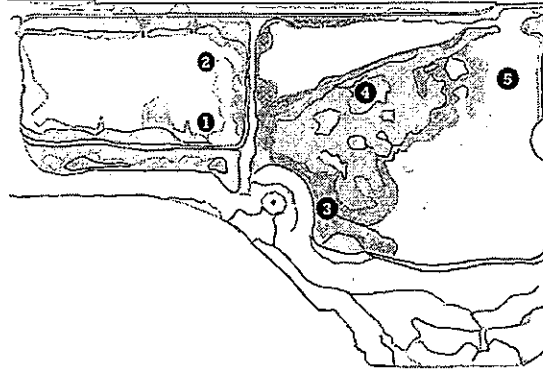


◆ 水鳥の餌生物

1. ゴカイ類はカワゴカイ類とコケゴカイが干潟に広く見られた。
2. 緑藻類がある所は、緑藻の隙間や下にヨコエビ類(トンガリドロクダムシ・ポシェットゲオヨコエビ)やブドウガイ、ミギワバエ類の幼虫や蛹、ユスリカ類の幼虫が多く見られた。
3. 緑藻がある所はミギワバエ類の成虫が多く発生し、水面に浮かんでいるミギワバエ類をシギ類がついばんで食べていた。
4. 外来種チチュウカイミドリガニが最近少なくなっていたが、今年によく見られた。



◆塩分濃度の測定 5地点



南瀬野島の塩分濃度 (単位:psu)					
2016年		2016/7/20(大潮)	2016/8/17(大潮)	2016/12/14(大潮)	
	干潮時刻	13:21 21センチ	12:24 32センチ	12:54 80センチ	
	測定時刻	11時頃	10時	10時半	
St. 1	南池の汽水池付近	26.56 潮は引き始め	25.9 水面下10センチ	27.6 水面下50センチ	28.5
St. 2	南池の西側	26.79 満潮	27.8 水面下10センチ	27.9 水面下50センチ	29.3
St. 3	北池縁壁崖前	24.28 予想通り	27.2		27.7
St. 4	西池と海筋でつながるヨシ原内の池 (藻も養投入場所)	24.52 予想通り	27.8		26.7
St. 5	北池縁壁前	26.11 潮は南池より引く	27.0		29.0

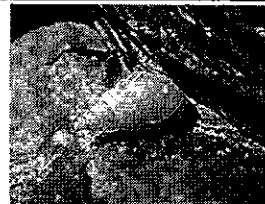
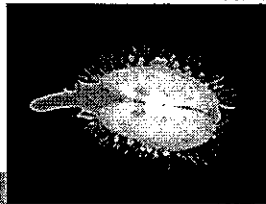
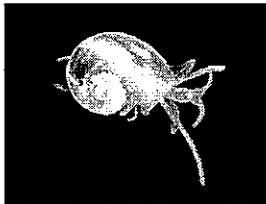
◆ 潮の干満や水深による変動、調査時間帯にもよるが、地点ごとに明瞭な差が出てこなかった。
 ◆ ただ地点1, 3, 4は塩分が低めになっていた。これらの地点では、汽水性の生物(カワゴカイ類やボシエトゲオヨコエビ、ユスリカなど昆虫類)が豊富であった。もう少し明瞭な塩分の差が出るような調査方法や調査時間の検討が必要と思う。

◆ ハクセンシオマネキ調査

- 7月20日の調査で237個体の巣穴を確認し、過去最大数であった。
- 昨年は直径1cm以下の小さな巣穴が多かったが、今年は1.5~2cmの大きめの巣穴が多かった。昨年に定着した個体が大きく成長していると思われる。

◆ その他の海岸生物

- ウミナナが昨年よりもかなり広い範囲で生息していた。
- 西池のホソジュズモ帯でカクメイ科貝類がたくさん生息しているのが見つかった。
- ニッポンマメアゲマキ、カキウラクチキレモドキ、スジハゼ(築港中学校の生徒が発見)なども見つかった。

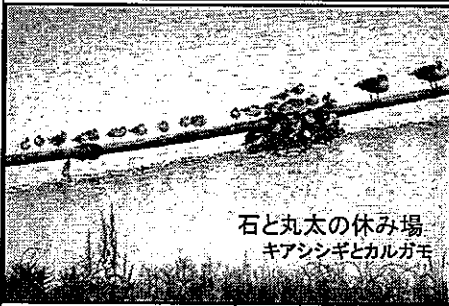


スジハゼ


B. 湿地の手入れ

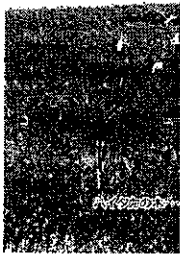
1) 水鳥の休み場づくり


南池に2カ所、ヨシ原に1カ所



石と丸太の休み場
キアシシギとカルガモ





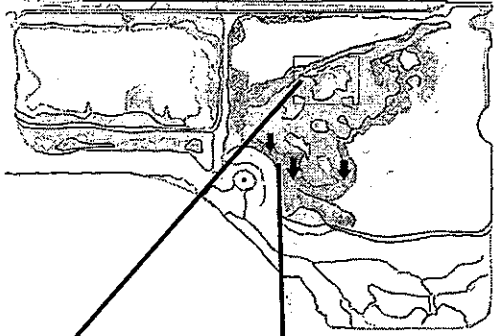



2) 落ち葉投入


(国内の落葉広葉樹: クヌギ・コナラ・エノキ)

目的: 干潟の生きものの生息場を
新たにつくること

1. 大阪市立大学との共同実験区
 水質調査: 水温, 塩分, DO, pH, クロロフィル, 栄養塩
 底質調査: 間隙水中のpH, ORP, 栄養塩濃度
 底質分析: AVS, CN, IL, 粒度組成, クロロフィル濃度
 ベントス調査: 種数と現存量 (NPOと共同で)
2. 市民との手入れ地区 (NPOサポート)
 北池の展望塔前などの持ち運びしやすい浅場
 春先や初冬に投入して, ベントスの長期変化をみる





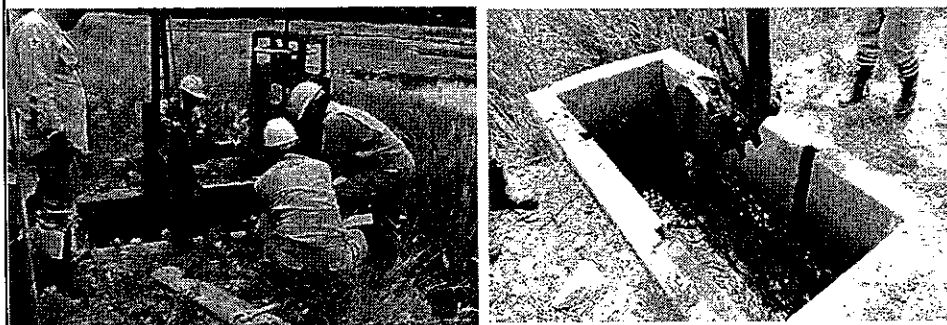


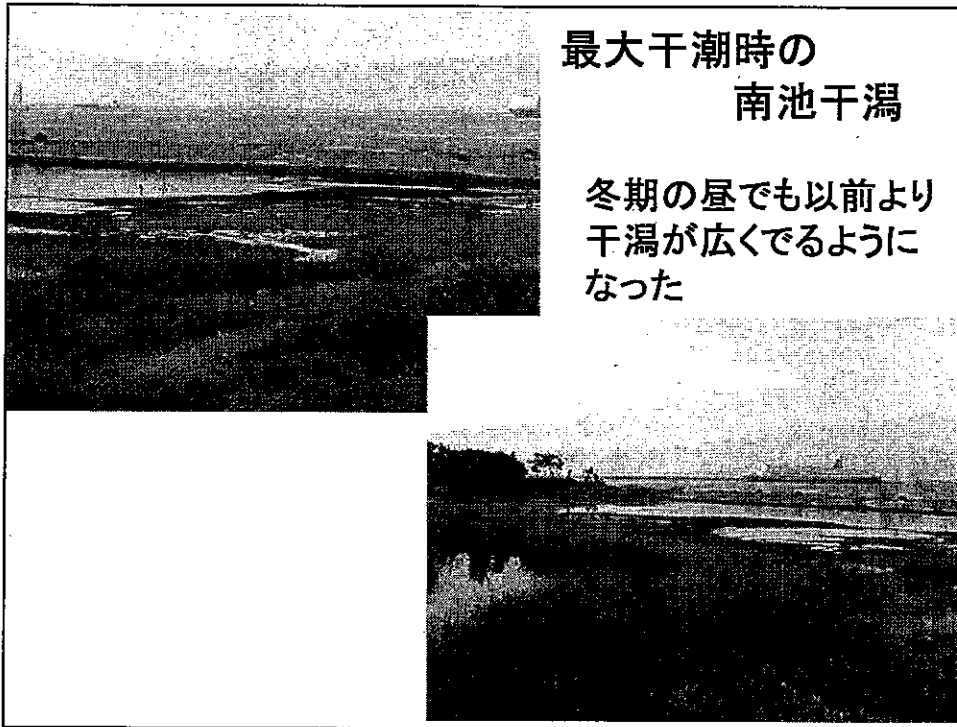
3) 漂着ごみ収集 6月11日:250名 11月12日:100名



4) 南池水門の撤去(大阪市港湾局が実施)
2016年6~8月の期間に3回

- 南池水門が半分閉じたままで流れが悪かったため、干潮時に南池からの海水の流れをよくする目的で水門を撤去
- その結果、流れは非常に良くなり、南池に干潟が広く出るようになった。





最大干潮時の
南池干潟

冬期の昼でも以前より
干潟が広くできるように
なった

C.環境学習 各種観察会

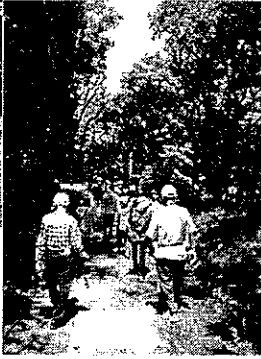
- | | | |
|-------------------------------|-------|------------|
| 1) バードウィーク野鳥かんさつ会 | 5月15日 | 小鳥と水鳥 |
| 2) 植物かんさつ会 | 6月25日 | 樹木と草花 |
| 3) 大阪湾生きもの一斉調査と
干潟の生きもの観察会 | 6月4日 | 「フジツボ」がテーマ |
| 4) ハクセンシオマネキ観察会 | 7月30日 | 築港中学参加 |
| 5) 干潟の渡り鳥かんさつ会 | 8月20日 | 主にシギ・チドリ類 |
| 6) 夜のアカテガニかんさつ会 | 8月20日 | 北池と周辺マツ林 |

バードウィーク野鳥かんさつ会

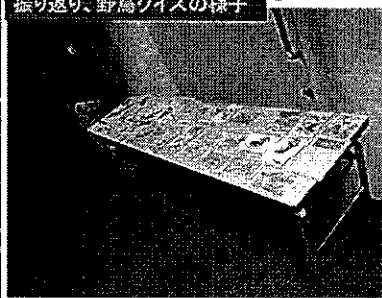


北観察所や緑地部分でのガイド

班に分かれて、林の中の小鳥類を見ながら北観察所に移動。展望塔で水鳥を見て、野鳥クイズを実施。



振り返り、野鳥クイズの様子



大阪湾生きもの一斉調査と干潟の生きもの観察



アメリカフジツボ

北池干潟での生きもの観察

